

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個06事04

政策名	1 グローバルロジスティクスの港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 海務課長	
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化	事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7880	
個別施策名	06 船舶の安全かつ円滑な入出港を確保する						
事務事業名	04 無線通信事務	継続	維持	維持	事業期間	昭和26年度～継続	
目的	入出港船舶及び港湾関係者に安全で効率的な船舶航行を促し、円滑な港湾利用に寄与します。					根拠法令等	名古屋港管理組合港湾施設条例及び同施行規則
概要	名古屋港入出港船舶と国際VHF無線電話(ポトラジオ)により通信を行い、本船動静情報の入手や水先人、タグボート、係留施設、荷役状況等の情報提供を行います。					実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	取り扱う通信の内容は、伊良湖水道通過時刻情報、港外や高潮防波堤の到着予定時刻情報、アンカー位置・時刻情報、水先人乗船情報、タグボート情報、スケジュール情報、係留施設の空き情報、気象情報等です。また、鍋田ふ頭コンテナターミナル利用船舶に対しては、特定運用方法により航路進入調整を行います。					関連シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	上記「24年度の実施予定」の内容のとおり実施し、達成することができました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費計	千円	7,116	7,016	7,016	7,014	7,014	(款項目節) 港営費、港営管理費、港営総務費、役務費、通信運搬費など
一般会計	千円	7,116	7,016	7,016	7,014	7,014	(算出計算式)
事業会計	千円						専用回線使用料 6,756,216円
その他	千円						保守点検委託料 200,000円
人員費計	千円	56,128	54,925	54,278	55,168	55,782	定期検査手数料 5,100円
正規職員	人	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	電波利用料 17,800円
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	登録点検委託料 34,860円 (その他)
合計	千円	63,244	61,941	61,294	62,182	62,796	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
無線通信回数(回)	目標	-	-	-	-	-	-	
	実績	17,492	17,992	20,161	20,914	24,350		
	達成率(単年度%)	-	-	-	-	-	-	
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-	-	
適正な通信対応回数率(%)	目標	100	100	100	100	100	100	
	実績	100	100	100	100	100		適正な通信対応回数÷無線通信回数
	達成率(単年度%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-	-	
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)					その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □					国際VHF無線電話(ポトラジオ)は、船舶との重要な通信手段であり、無線通信回数も年々増えており、必要な事業です。また、ポトラジオの免許は、港湾管理者又は海上保安庁に与えられるものであり、本組合が関与するする必要があります。伊勢湾内の三河港及び四日市港においても港湾管理者がポトラジオを運営しています。	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □					必要不可欠な通信ができており、目的・目標の水準は妥当と考えます。	
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □					個別施策への貢献についてですが、鍋田ふ頭コンテナターミナル利用船舶に対しては特に、特定運用方法を行ったことによる安全かつ円滑な入出港を確保することができました。	
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □					人員数については、24時間勤務体制維持可能な必要最小の人員で行っています。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □					受益者負担について、東西港を含めたほとんどの港湾は港湾管理者が全額負担をしています。	
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □						

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			適正に業務が行われているが、他港の状況も参考にし、利用者のニーズにあった効率的な対応が必要であるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
より効率性を高めるため、無線通信事務のあり方について、委託化を含めた検討を進めていきます。				